



大森山動物園のあゆみ

昭和28年～48年



千歳公園内にあった「市立児童動物園」

はじまりの頃 昭和25年 >>> 昭和48年

昭和25年千歳公園内に秋田県が創設した児童会館付属児童動物園が、昭和28年秋田市に移管され「秋田市児童動物園」となりました。約60種類の動物が展示され、回転木馬やお猿の電車なども人気でした。

その後、昭和48年に大森山公園へ移転し、「大森山動物園」として開園。今年で50年になります。

- 昭和48年 大森山動物園開園
- 昭和51年 園内に遊園地オープン
- 昭和56年 サル山オープン
- 昭和57年 友好都市・中国蘭州市からフタコブラクダが贈られる
- 平成 3年 ゾウ、キリンを公開
- 平成 5年 夜の動物園スタート
- 平成 9年 ふれあいランドオープン
- 平成14年 チンパンジーの森オープン
義足のキリン「たいよう」が話題になる
- 平成15年 猛獣舎「王者の森」オープン
イヌワシ初繁殖
- 平成17年 まんまタイム、エサやり体験開始
- 平成18年 雪の動物園スタート
- 平成19年 研修ホール管理事務所「ミルヴェ館」オープン
園内遊園地が「アニバ」としてオープン
- 平成20年 動物健康管理センター「森のびょういん」オープン
- 平成21年 大型遊具「アソヴェの森」オープン
- 平成23年 新世界サル舎「さるっこの森」オープン
- 平成25年 エンリッチメント大賞受賞
- 平成26年 ビジターセンターオープン
- 令和 元年 野生生物保護功労者環境大臣表彰
エンリッチメント大賞受賞
- 令和 3年 新サル舎「天空の楽猿」オープン

昭和48年9月



開園オープニング式典で

平成3年3月



市政100周年記念事業として
ゾウ、キリンが仲間入り

平成15年10月



猛獣舎「王者の森」完成。開園30
周年の記念式典とあわせてお祝い

令和3年3月



高さのある野外展示場、
新サル舎「天空の楽猿」完成

平成21年4月



動物を間近で見ながら楽しめる
大型遊具「アソヴェの森」完成



開園40周年を
記念してデザインされ
た大森山動物園の
イメージキャラクター
「オモリン」

これから

この50年間で、飼育動物頭数は333点(昭和48年)から545点(令和4年)に増え、来園者は累計で約1,200万人(令和4年)となり、動物を間近で見ることができイベントや遊具など体験型で楽しむ動物園として愛されてきました。今年50周年記念イベントも開催予定！これからもみなさんの楽しい思い出づくりにぜひ足をお運びください。